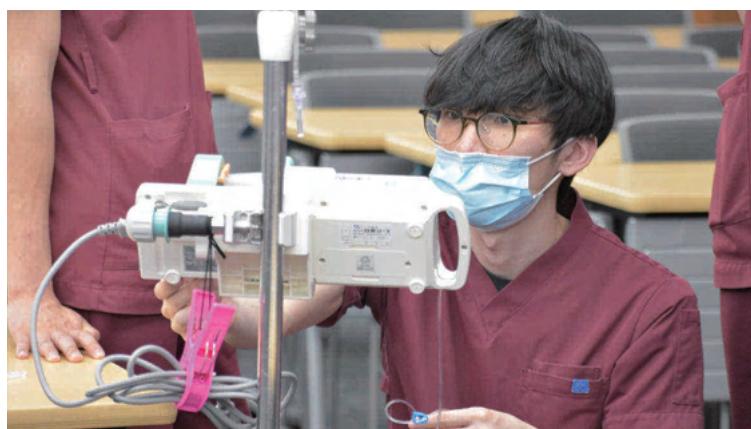




いのち

人を守るひとになりたい

Japanese Red Cross Tokushima

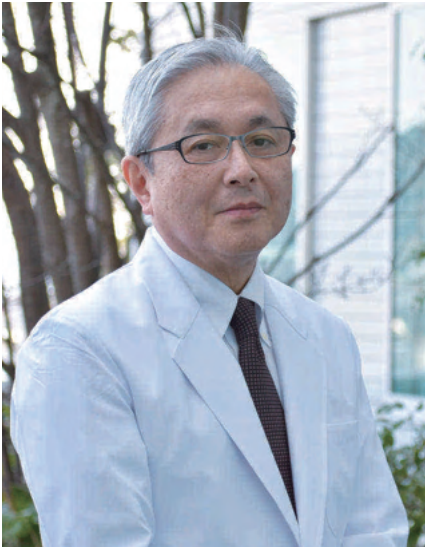


徳島赤十字病院

初期臨床研修プログラム

2025

MESSAGE



研修管理委員長

院長 後藤 哲也

徳島赤十字病院の研修プログラムは、研修医のニーズに応じて毎年進化し続けています。例えば、当院の全身麻酔の手術数（100床あたり）は常に全国のTop10にランクされており、外科系の研修は非常に充実していますが、夜間の緊急手術も多く外科ローテイト中のオンコールが負担に感じられるケースもありました。そこで、外科のローテーションに複数の選択肢を用意し、ガッツリ研修したい場合は、心臓血管外科・血管内治療科・整形外科・脳神経外科など、そして、外来も含めてじっくり専門的な研修を体験したい場合は、乳腺外科や泌尿器科などを組み入れるなどのアレンジが可能です。また、内科系の研修においては、腎臓内科（透析も含む）、脳神経内科（主としてstroke neurology）などを必修である内科のローテイト期間内に回ることができます。救急科は、北米型ERである高度救命救急センターとICU／救命救急病棟を研修の場として、救急専門・専従の医師11名の指導体制で、多職種参加のウォーキングカンファレンスや毎日の振り返り・フィードバックで実践力をつけることができます。選択科目では、心エコー・内視鏡などの手技に特化した研修や、病理、臨床検査医学、災害医療救護などユニークな科目を自由に選択することができます。

当院は病床数405床とコンパクトな総合病院ですので、各診療科の垣根が低くコンサルテーションが容易であり、また、看護師をはじめ全てのメディカルスタッフの士気が高く非常に仕事がやりやすいことが特徴です。一方、病床稼働率が高く、平均在院日数も8.7日と非常に短いことから、600床以上の病院に匹敵する新入院患者数がありますので、先輩方の屋根瓦に守られながら数多くの症例を経験できます。また、忙しい中にもゆったりとしたご自分の時間を確保できるような心配りも忘れていません。このように当院の研修プログラムは、すべて研修医を第一に考えられています。皆さんが、医師そして人間として成長していくための場として、徳島赤十字病院の研修を選んで下さることを願っております。

2020年4月から、初期研修プログラムの内科・外科・救急科・地域医療に加え、小児科・産婦人科・精神科が必修となりました。当院では研修医の希望と指導医のアドバイスを参考に、多岐にわたる症例を経験できるよう、新しい研修プログラムを作成しています。

必修内科の各研修期間を少しずつ短縮し、新しくできた4週間に自由に選択できる診療科を新設しました。必須の内科に加えて腎臓内科（透析含む）、脳神経内科のいずれかを選択することができます。外科では、従来選択できる診療科の他に眼科や耳鼻咽喉科・頭頸部外科、泌尿器科などを選択することが可能です。それに加え研修1年目の後半には、自分が専門としたい診療科への研修も行えるようプログラムを変更しました。今まで以上に研修医への選択肢がひろがった初期研修プログラムになったと確信しています。

しかし、研修プログラムが充実した反面、研修医への負担が増加することも懸念されます。そのため、4週間を超える診療科の研修期間には、少なくとも1日の有給休暇が取得できるようにしています。遠慮せずに休暇をとってストレスの解消や、自分のプライベートを充実させましょう。もちろん当直明けの午後は半日のお休みが取れます。多くのことを学びながら休暇を活用し、有意義で満足のいく研修ができるように病院全体でサポートしていきます。是非、徳島赤十字病院で初期研修を、そして医師としてのスタートをきってください。



プログラム責任者

副院長 別宮 史朗

病院概要

私たちは断らない医療を実践し、みなさまの健康と尊厳をお守りします。

1. いかなる差別もせず、最も助けが必要な人を優先し、病める人々とそのご家族の健康と尊厳をお守りします。

1. 医療安全を第一に、質の高い先進医療を提供します。

1. 高い専門性を希求しながらも、救急医療を原点としてとらえ、すべての患者さんを受入れます。

1. 地域の医療ネットワークを生かし、互いの力を結集し、安心して暮らせる社会づくりに貢献します。

1. 赤十字としての自主性を保ちながら、国内外の災害救護活動に積極的に取り組みます。

1. 教育研修を推進し、将来を担う人間性豊かな医療人を育成します。

1. 相互扶助を組織の文化として、人にやさしく働きがいのある病院を目指します。

これらの品質方針に適合した病院運営を行う為に、品質マネジメントシステムの有効性を検証し、継続的に改善していきます。

基本方針

研修理念

徳島赤十字病院は医師としての人格を涵養し医学及び医療の果たすべき社会的役割を認識しつつ将来専門とする分野にかかわらず幅広い臨床能力（知識・技術・態度・総合判断力等）を身につけ、チーム医療の一員としてその役割を理解しチームメンバーと協力しながら全人的態度で医療を提供できる医師を全職員で守り育てます。

2022年度実績

新入院患者数（1日あたり）	37.9人
在院患者数（1日あたり）	329.8人
平均在院日数	8.7日
病床稼働率	90.8%
外来患者数（1日あたり）	724.7人
新患者数（1日あたり）	105.5人
初診の紹介率	92.4%
救急患者数	15,651人 （うち、救急搬送5,112人）
手術件数（手術室稼働件数）	5,659件 （入院5,035件、外来624件）

特 殊 機 能

基幹型臨床研修指定病院
地域医療支援病院
高度救命救急センター
地域がん診療連携拠点病院
地域災害医療センター
地域周産期母子医療センター
へき地医療拠点病院
臓器提供施設
小児救急医療拠点病院
新型コロナウイルス感染症重点医療機関
紹介受診重点医療機関

病 床 数

一般405床（うちICU12床、救命20床、無菌17床）

職 員 数

1,143名（パート含む）

標 榜 診 療 科

内科、血液内科、糖尿病・内分泌内科、消化器内科、循環器内科、脳神経内科、腎臓内科、呼吸器内科、小児科、外科、乳腺外科、呼吸器外科、消化器外科、精神科、整形外科、形成外科、脳神経外科、心臓血管外科、小児外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科・頭頸部外科、リハビリテーション科、放射線科、病理診断科、麻酔科、救急科

主な医療設備

手術支援ロボット、ハイブリッド手術室、PET-CT、ADCT（320列）、MDCT（64列）、MRI（3.0T、1.5T）、DSCT（128列）、アンギオ装置（バイブレイン）5台、放射線治療装置（リニアック）、SPECT-CT装置など

プログラムの概要

救命救急医療および地域医療支援の特殊機能を活かし、多くの急性期疾患と救急疾患の初期治療を行える能力を習得します。



内 科 ※1	24週間：内科、血液内科、糖尿病・内分泌内科、消化器内科、循環器内科 4週間：上記に加えて腎臓内科（透析）、脳神経内科から選択
外 科 ※2	8週間：外科 4週間：外科、乳腺外科、整形外科、脳神経外科、心臓血管外科、血管内治療科、泌尿器科、眼科、耳鼻咽喉科・頭頸部外科から選択
選択科 ※3	内科、血液内科、糖尿病・内分泌内科、消化器内科、循環器内科、腎臓内科(透析)、脳神経内科、外科、乳腺外科、整形外科、脳神経外科、心臓血管外科、血管内治療科、泌尿器科、小児科、形成外科、小児外科、皮膚科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科・頭頸部外科、リハビリテーション科、放射線科、病理診断科、麻酔科、救急科、検査部

■プログラム例

1 年次	24 週			
	内 科			
	8 週	12 週	4 週	4 週
	外 科	救急科	産婦人科	選択科
2 年次	32 週			
	選択科			
	4 週	4 週	4 週	4 週
	地域医療	内科（選択）	精神科	小児科
				外科（選択）

協力施設

地域医療	碩心館病院、ホウエツ病院、近藤内科病院、江藤病院、木頭診療所、上那賀病院、勝浦病院、海南病院、美波病院、小松島金磯病院
精 神 科	城南病院、藍里病院、TAOKAこころの医療センター、徳島大学病院（精神科）
地域保健	徳島保健所、吉野川保健所、阿南保健所
選 択 科	旭川赤十字病院（脳神経外科）、大阪赤十字病院（呼吸器内科）、松山赤十字病院（消化器内科）、高松赤十字病院（呼吸器内科）、徳島大学病院（呼吸器・膠原病内科、消化器内科、血液・内分泌代謝内科）、川島病院（腎臓内科）、亀井病院（緩和医療）、小松島天満クリニック（内科）、博愛記念病院（内科）、小松島病院（内科）、徳島赤十字ひのみね医療療育センター（小児科）

専攻医 VOICE

私は当院で初期研修を終え、引き続き救急科専攻医として勤務し、断らない医療を掲げ県内随一の救急搬送数を誇る当院で日々研鑽を積んでいます。3年目の現在は、上級医に指導してもらいながら同期と切磋琢磨し、研修医の指導にも力を入れています。救急科研修では外科系も内科系も、軽症から重症まで幅広い患者さんの診療に携わることができ、毎日が刺激的です。他科との垣根も低く、相談しやすい環境が整っており、病棟では共診しながら様々な疾患のICU管理について学べます。皆さんも当院でやりがいのある研修生活を送りませんか。ぜひ、一度見学にお越しください。

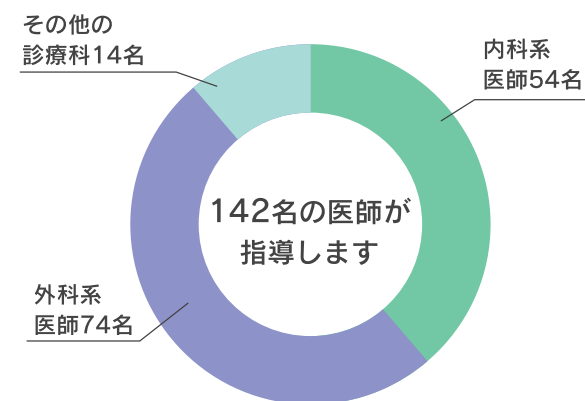
救急科専攻医 鈴木さくら



教育体制

01 充実した指導体制

当院では、common diseaseを中心として、多岐にわたる疾患を経験することができます。それぞれの科に指導医も多く在籍しているため、各科をバランスよく学ぶことができます。また、屋根瓦方針を基本にマンツーマン要素を取り入れており、若手医師の層も厚くコンサルトしやすい環境です。



★プログラム責任者講習会修了者数 7名
★指導医数 107名
（7年以上の臨床経験を持つ医師）
うち臨床研修指導医養成講習会修了者数 77名

2023年4月1日現在

02 県内トップクラスの手術件数、最新の医療技術

総手術件数や全身麻酔件数は徳島県でトップクラスの件数を誇ります。また、四国初となる経皮的左心耳閉鎖術（WATCHMAN）をはじめとした最先端の医療技術を推進しています。

■ 総手術件数	5,659 件	■ 全身麻酔件数	3,980 件
■ 消化管内視鏡検査・手術等	9,717 件	■ 心臓カテーテル検査・治療等	3,570 件

03 ER研修

当院は、高度救命救急センターでありながら、県内の救急患者を1次から3次まですべてに対応します。そのため内科系・外科系を問わず、数多くの症例を経験でき、実践力を身につけながら着実にレベルアップを図ることができます。ドクターカーは、平日9～17時で運行しており、希望があれば同乗し、病院前救急診療の研修も経験できます。

■ 救急搬送受入件数	■ ドクターカー出動件数	■ ドクターヘリ受入件数
5,108 件	508 件	136 件

■ スキルスラボ・シミュレーション教育が充実

シミュレーターなどを用いて医療技術の習得を図るための施設「スキルスラボ」が、24時間いつでも使用できます。救命救急処置並びに外科的処置など様々なトレーニングを行うことが可能、ICLS,ACLS,BLSなども行われます。



- 腰椎・硬膜外穿刺シミュレーター
- 内視鏡外科手術用トレーニングボックス
- CVC穿刺挿入シミュレーター
- マイクロ手術練習用実体顕微鏡
- 関節鏡視下手術シミュレーター(肩・膝)
- 超音波診断装置 等があります。

研修医参加の研修会や勉強会

研修医対象の勉強会が多数あり、病院の職員全体で研修医の教育を行っています。各診療科の指導医による**コアレクチャー**や、災害時に的確なトリアージを行うための**トリアージ研修会**、研修医が企画・実施する**レジ勉**など多彩な研修会があります。また、ICLS、ACLS、BLS、緩和ケア研修は受講必須となっており、受講料も病院が負担します。なお、月に1回、各診療科部長や上級医と研修医が研修内容について話し合う研修医・指導医連絡会を開催し、研修医から要望があれば適宜研修内容の見直しを行います。研修期間が充実したものになるよう専従の事務スタッフがサポートし、より良い研修を目指します。

研修医セミナー

12回/年



昼食時間を利用して当直時に経験した症例を発表するセミナー

中心静脈穿刺講習会

1回/年



救急科・麻酔科医師ら指導のもと超音波ガイド下穿刺法を含む模型を使用した中心静脈穿刺の講義及び実技講習

細隙灯顕微鏡講習会

1回/年



ERでの眼科患者診察に必要な細隙灯顕微鏡及び眼圧測定の実技講習

CPC・RCPC

12回/年



剖検回数：15例（2022年度実績）
2年間の研修中に最低1回は発表者となり症例の検討を行う勉強会

皮膚縫合研修

3回/年



形成外科医師の指導のもと縫合キットを使用した実技研修会

人工呼吸セミナー

1回/年



人工呼吸器の基本的な知識や技術を習得する呼吸ケアチームによるシミュレーターを用いた講習会

研修医の一日

救急科

ドクターカーによる病院前救急診療、救急外来(ER)での初期診療、ICUや救命救急センターでの重症患者診療、一般病棟での入院患者診療などを行う。

循環器内科

心不全、虚血性心疾患、不整脈、末梢血管疾患の診療に加えて、経カテーテル的大動脈弁置換術(TAVI)、経皮的左心耳閉鎖術(WATCHMAN)、経皮的補助人工心臓(IMPELLA)など最新の医療機器による治療も経験できる。

カンファレンス、抄読会、症例検討

8:00

病棟回診、チーム内カンファレンス

医師全体ミーティング

8:40

医師全体ミーティング



ドクターカーカンファレンス

患者情報を救急科全体で共有

8:50

循環器科カンファレンス、抄読会

日替わりで病棟・ER業務を担当する

病棟当番

ICU、救命救急センター、一般病棟患者管理

重症患者の集中治療：敗血症性ショック、重症外傷、中毒、心停止蘇生後症候群 等

多職種カンファレンス：ICU・ERの入院患者について多職種合同でカンファレンス。医師、看護師、薬剤師、管理栄養士等参加

一般病棟管理：Common disease、軽症外傷 等

ER当番

救急患者、Walk-in患者対応

病歴、身体診察を重視した診療を行います。一般診療で日常的にエコーを多用するため、エコーのスキルが上達します。



救急科医師からのフィードバック

ERでの診療や、病棟管理での疑問点について指導医からフィードバックを受ける。その日の疑問はその日に解決！



17:00

病棟回診

多い時は1日15件以上の心臓カテーテル検査・治療を行う。研修医もシース挿入やカテーテル手技の補助など積極的に参加する。



ER対応

急患の初期対応や緊急カテーテル検査など。時間があるときは上級医からのレクチャーや、心エコーの実技研修を行う。

研修会も充実



指導医 Message

みなさんは今、自分の目指す将来の医師像を思い描きながら研修先を模索していることと思います。何を基準に探していけばよいのか、迷うこともあるかもしれません。その基準の一つですが、研修中にどれだけ多くの患者さんの診療に関わることができるか、そしてどれだけ多くのことを学ぶことができるかはとても大切な要素になります。当院は三次救急を担う高度救命救急センターですが、理念に「断らない医療」を掲げており、重症度に関係なく、多くの患者さんを県内全域から受け入れています。非常に多くの症例数を経験することで、3年目以降にどの専門科に進むことになったとしても、きっとみなさんの自信に繋がるはずです。ぜひ一度、見学に来て下さい。お待ちしております。



循環器内科 副部長
当別當 洋平



来て良かったと思える病院

研修医1年次 浅川 拓巳
(徳島大学卒)

僕は高校まで兵庫県で過ごし、大学から徳島に来ました。卒業後は地元で働きたい気持ちもありましたが、現在も徳島で働いています。それは、当院の研修や雰囲気がとても魅力的だったからです。3次救急まで幅広い疾患を、研修医がファーストタッチで診ることができます。また、医局とは別に研修医医局があり、研修医同士とても仲が良いところに惹かれました。ぜひ一度見学にいらしてください。



熱心な指導体制と充実のプログラム

研修医1年次 大崎 華奈
(徳島大学卒)

私が当院を選んだのは、熱心な指導体制とER研修をはじめとする充実した研修プログラムに魅力を感じたからです。また多数の研修会、勉強会が一年を通して開催されており、様々な角度から力をつけることができます。研修医の仲が良く、メディカルスタッフや事務の方々も、温かく研修をサポートしてくださっています。ぜひ、当院で楽しく充実した研修生活を送ってください。

多くの症例を経験

研修医1年次 川淵 海翔
(九州大学卒)

当院は徳島県の3次救急の要であり、ERでは様々な症例を経験することができます。また、手術件数も病床数あたりに換算すると全国でも有数であり、志望科によって多くの症例を経験することができます。科の垣根も低く、様々な科を横断した診療に触れることができます。オンとオフもしっかりしており、休みも取りやすい病院です。



仕事中は真剣に、遊びも本気で

研修医1年次 鴻本 未咲
(徳島大学卒)

当院は指導医の人数が多く、毎日熱心な指導を受けながら充実した研修をさせていただいています。2023年には3年ぶりに院友会の忘年会が開催され、余興では研修医1年次でダンスや歌を披露しました。研修医医局でチキンを食べながらの計画から始まり、買い出しや撮影、リハまで同期全員で楽しく準備をし、本番では過去一番の盛り上がりを見せました。研修は真剣に取り組んでいますが、遊びも本気です。当院と一緒に楽しく2年間を過ごしませんか。



充実した院外研修

研修医2年次 富永洋介
(徳島大学卒)

当院の魅力は、問診から始まり身体診察や検査オーダー、他科や上級医へのコンサルトを含め、医師として必要なことを学ぶ機会が非常に多いことです。また、院外研修も充実しており、私は旭川赤十字病院脳神経外科で4週間お世話になりました。手術症例が豊富であり、多くの手技や救急対応を経験することができました。院外研修は各病院のルールやカルテ扱い方など覚えることが多いため苦労する部分はありますが、他県及び他院で得られる医療従事者とのつながりは、今後の医師人生において貴重な財産だと思います。医師としてのスタートダッシュを、ぜひ当院で行いましょう。



年間行事

annual events

4

April

辞令交付式

研修医・研修看護師合同技術研修

日本赤十字社徳島県支部救護班要員研修会



5

May

トリアージ研修

6

June

院内災害医療訓練

7

July

医学部6年生に対する卒後臨床研修説明会

サマーパーティー

SUMMER臨床研修説明会



8

August

研修医同窓会

阿波踊り



10

October

日本赤十字社医学会総会

全国赤十字病院スポーツ大会

病院祭

11

November

四国地区赤十字病院スポーツ大会

本社研修



12

December

忘年会



2

February

徳島大学医学部生に対する

卒後臨床研修説明会

3

March

研修修了式



2025年度

初期臨床研修医募集要項

基幹施設として3領域の研修プログラムを用意しています。

当院は、病院理念である“断らない医療”に基づき、県下で最も多くの重症救急患者を受け入れていますので、症例数が非常に豊富であることは論を俟ちません。さらに、トップクラスの技術と見識を持った指導医が熱心に指導する伝統があり、それを組織がハイブリッド手術室やラピッドレスポンスカーなどの先進医療体制を整備して支えています。

私たちは、専攻医の皆さんが充実した研修の時を過ごしていただけるよう、全力でサポートすることを約束します。

内科

将来の消化器、循環器、糖尿病、血液等のサブスペシャルティに繋がる一般型コースに加え、当院の特徴を活かした循環器サブスペシャルティ重点型コースがあります。

整形外科

『地域医療に貢献できる幅広い知識と視野を持った整形外科医師』を到達目標としており、多くの救急外傷症例の他に、関節外科、スポーツ、脊椎、肩関節の症例を経験豊富な指導医のもと数多く研修できます。

救急科

「救急現場・蘇生・集中治療に特化するだけでなく、退院後の患者の生活を見据えて診療・病棟管理ができる救急医」を育成するためのプログラムです。ラピッドレスポンスカーを用いた病院前救急診療、ER診療、各診療科と協力して行う集中治療や一般病棟管理など、入院から退院まで一貫した診療を行います。提携している他県の救命センターで、短期研修を行うことも可能です。

修了後の進路

2023年3月 研修修了者	2022年3月 研修修了者	2021年3月 研修修了者
徳島大学病院 4名 徳島県立中央病院 1名 兵庫県立はりま姫路総合医療センター 1名 愛媛大学医学部附属病院 1名 徳島赤十字病院 5名	徳島大学病院 8名 静岡県立総合病院 1名 亀田総合病院 1名 徳島赤十字病院 2名	徳島大学病院 6名 徳島赤十字病院 3名
2020年3月 研修修了者	2019年3月 研修修了者	2018年3月 研修修了者
徳島大学病院 6名 産業医科大学病院 1名 徳島赤十字病院 3名	徳島大学病院 4名 大阪府済生会千里病院 1名 大阪府済生会野江病院 1名 徳島赤十字病院 5名	徳島大学病院 10名 徳島赤十字病院 2名



募集定員	1年次 12名程度			
身 分	研修医（常勤嘱託職員）			
給 与	月 収		賞 与	
	1 年 次		年 収	
	約 48 万円	約 36 万円	約 610 万円	約 680 万円
	2 年 次	約 50 万円	約 83 万円	約 680 万円
	※月収に含まれるもの 宿日直手当（21,000円/1回）5回分、住居手当、時間外手当（10時間相当分）			
勤務時間	8時40分～17時10分（休憩45分）			
休 日	土曜日・日曜日・国民の祝日、5月1日（日本赤十字社創立記念日）、 年末年始（12月29日～1月3日）			
休 暇	年次有給休暇 年間24日（夏休み3日含む）、 特別有給休暇（結婚・忌引等）			
社会保険	健康保険、厚生年金、労災保険、雇用保険			
福利厚生	健康診断（年2回）、各種予防接種、互助会（レクリエーション、 サマーパーティ、忘年会等、各種クラブ活動：野球、バレーボール、 テニス、フットサル、バスケットボール等）院内保育園、日赤グループ保険、 日赤積立年金、学会・研修会等への参加補助有り（規定による）			
修了後の 待 遇	当院での専攻医を希望する者は選考の上、正規職員として採用します。			
応募資格	2025年3月卒業後医師免許取得予定者			
応募書類	①履歴書・個人票（当院HPよりダウンロード） ②成績証明書 ※都道府県が設定した地域枠の奨学金を受給している場合は、 その名称を履歴書に記載してください。 ※封筒に「研修医採用試験応募書類在中」と朱書きしてください。			
応募締切	2024年7月31日（水） 必着			
試験方法	小論文、面接			
試 験 日	2024年8月23日（金）、または2024年8月27日（火）のいずれか希望日			
合格発表	医師臨床研修マッチング結果に基づきます。			



〒773-8502 徳島県小松島市小松島町字井利ノ口103番
TEL : 0885-32-2555 FAX : 0885-32-6350
E-mail : kensyui3@tokushima-med.jrc.or.jp
<http://www.tokushima-med.jrc.or.jp>

Facebookでチェック 



病院見学

随時見学を受け付けています。
病院ホームページより希望の日時と希望診療科をご連絡下さい。

当院WEBサイトの
「研修医」ページをご覧ください。

